

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 2 月 6 日

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

（コード番号：4820 東証第二部）

（URL <http://www.emsystems.co.jp>）

代 表 者 役職・氏名 代表取締役社長 國光 浩三

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役管理本部長 田中 英次

（TEL：(06) 6397 - 1888）

1．四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理： 無
の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2．平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 12 月 31 日）

（1）売上高（又はこれに相当する事項）

	（百万円未満切捨）	
	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	5,475	（ 3.4 ）
15 年 3 月期第 3 四半期	5,296	（ - ）
（参考）15 年 3 月期	7,468	（ 23.7 ）

（注）売上高（又はこれに相当する事項）は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

平成 15 年 3 月期第 3 四半期の前年同四半期増減比率については、前々年同四半期の売上高を算出しておりませんので、記載を省略しております。

[製品分類別売上高]

		平成 15 年 3 月期 第 3 四半期		平成 16 年 3 月期 第 3 四半期	
		金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤システム	3,589	67.8	3,344	61.1
	医科システム	71	1.3	161	3.0
	ネットワークシステム	3	0.0	85	1.6
	サブライ	527	10.0	511	9.3
	保守サービス	94	1.8	162	3.0
	計	4,286	80.9	4,266	78.0
調剤薬局事業		1,009	19.1	1,209	22.0
合 計		5,296	100.0	5,475	100.0

[売上高（又はこれに相当する事項）に関する補足説明]

平成 15 年 4 月の医療制度改革による患者個人負担増が、来局患者数の減少を引き起こしたことから、調剤薬局の設備投資の減少につながりました。また、今年 4 月には薬価の改正が予定されており、さらに医療費抑制の改革が検討され、厳しい環境となってまいります。しかし、医薬分業率は全国平均で 50%を超え、医薬分業は着実に進んでおります。その状況下で、調剤薬局のさらなる経営の合理化、効率化への要望は高まっており、調剤薬局業務全体を支援するシステムが求められております。

当第 3 四半期までの売上高は 5,475 百万円となりました。

（調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業）

平成 14 年、15 年の医療制度改革により、調剤薬局の経営状況が厳しくなり設備投資が減少する中、当社は、他社製品との差別化を図るため、省スペース型薬袋プリンタの投入や、ASP を利用したネットワークシステムの提案を行ってまいりました。また、下半期には新基幹システム「Recepty」を投入しましたが、本格投入が 12 月まで遅れたことと、上半期に実施した新システム購入の買い控えを防ぐために従来システムの単価引下げによる影響が売上高の低迷につながりました。

ネットワークシステム事業としましては、上半期に設備強化により出荷を見送っていた調剤薬局情報共有化システム「NET-α」が、下半期に入り順調に売上を増加させております。さらに、12 月からは新製品として携帯端末において医薬・患者情報が閲覧できるサービスも開始いたしました。今後につきましても、ネットワークシステム事業の当社に占める割合は増加していくものと考えられます。

その結果、当第 3 四半期までの売上高は 4,266 百万円となりました。

(調剤薬局事業)

医療制度改正による売上の減少が予想される中、当第3四半期までの売上高は1,209百万円と堅調に推移しております。主な要因としましては、長期処方による投薬増加、前期に新規開局した2店舗の経営が軌道に乗ったことと合わせて、大型店の梅田北薬局は、近隣競合薬局との差別化が功を奏し来局患者数が大幅に増加したこと、また、薬剤師の教育を強化したことにより技術料収入の増加が売上高の増加につながっております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	8,416	815	455	64 36

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期までの売上高は、調剤薬局事業が順調な状況でありました。調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業におきましては、厳しい状況で推移しておりますが、第4四半期につきましては、新製品の本格投入効果、また、省スペース型薬袋プリンタの初期ロットの微調整が終了し、基幹システムのオプションとして他社製品との差別化が図れることから、売上の増加が見込まれます。ネットワークシステム事業につきましても、調剤薬局情報共有化システム「NET-α」の導入、携帯端末における医薬・患者情報閲覧サービス「Mobility」の拡販を推し進め、ますますネットワークシステム事業の売上高が増加してまいります。さらには「NET-α」、「NET-Receipty」を強みとして、大型チェーン薬局への導入や平成16年4月に予定している薬価改正による買い替え需要が見込まれます。

以上を勘案し、業績予想につきましては、当初予想に修正はありません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（個別）

平成 16 年 2 月 6 日

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

（コード番号：4820 東証第二部）

（URL <http://www.emsystems.co.jp>）

代 表 者 役職・氏名 代表取締役社長 國光 浩三

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役管理本部長 田中 英次

（TEL：(06) 6397 - 1888）

1．四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理： 無
の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2．平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 12 月 31 日）

（1）売上高（又はこれに相当する事項）

	（百万円未満切捨）	
	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	4,272	（ 0.7 ）
15 年 3 月期第 3 四半期	4,302	（ - ）
（参考）15 年 3 月期	6,101	（ 17.8 ）

（注）売上高（又はこれに相当する事項）は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

平成 15 年 3 月期第 3 四半期の前年同四半期増減比率については、前々年同四半期の売上高を算出しておりませんので、記載を省略しております。

〔売上高（又はこれに相当する事項）に関する補足説明〕

当該四半期につきましては、第 3 四半期業績の概況（連結）の〔売上高に関する補足説明〕（調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業）に記載のとおりでありますので、個別での記載を省略しております。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3．平成 16 年 3 月期の業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日）

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予想当期純利益	1 株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	6,911	763	427	60 29

〔業績予想に関する定性的情報等〕

業績予想につきましては、第 3 四半期業績の概況（連結）の〔業績予想に関する定性的情報等〕に記載のとおりでありますので、個別での記載を省略しております。

（注）業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上